

個人投資家向けセミナー



コスモ・バイオ株式会社

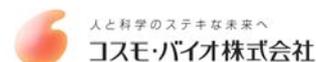
(証券コード:3386)

2012年10月11日

www.cosmobio.co.jp

JASDAQ
Listed Company 3386

目次



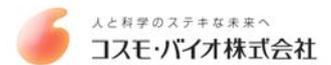
1. 会社概要 p. 3
2. 事業内容と特徴 p. 8
3. 2012年の取り組みと進捗状況 p.22
4. 決算概要(2012年12月期第2四半期累計) p.31

1. 会社概要

www.cosmobio.co.jp

3

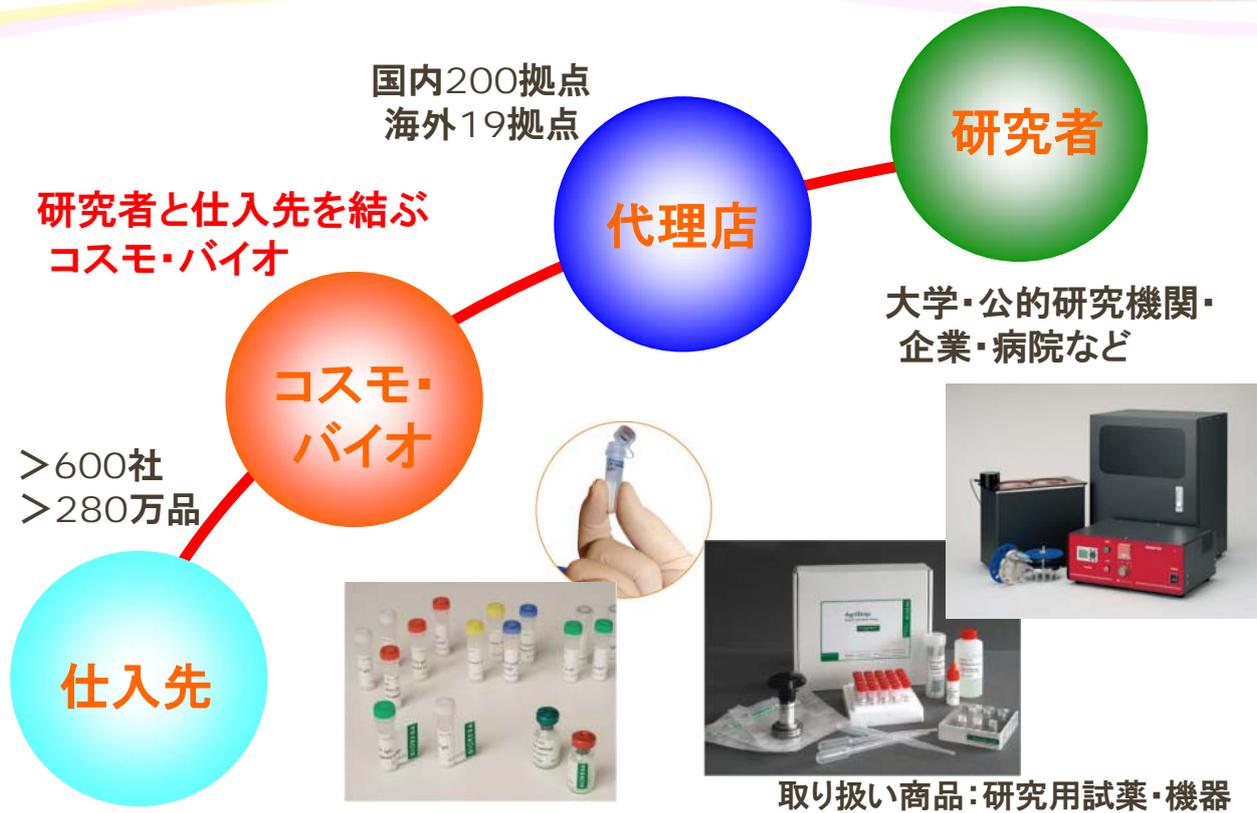
会社概要



社名: コスモ・バイオ株式会社
設立: 1983年8月25日
本社所在地: 東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者: 代表取締役社長 笠松 敏明
事業内容: ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
臨床検査薬の輸出入および国内販売
資本金: 918百万円
従業員数: 連結:120名 個別:80名(2012年6月30日現在)

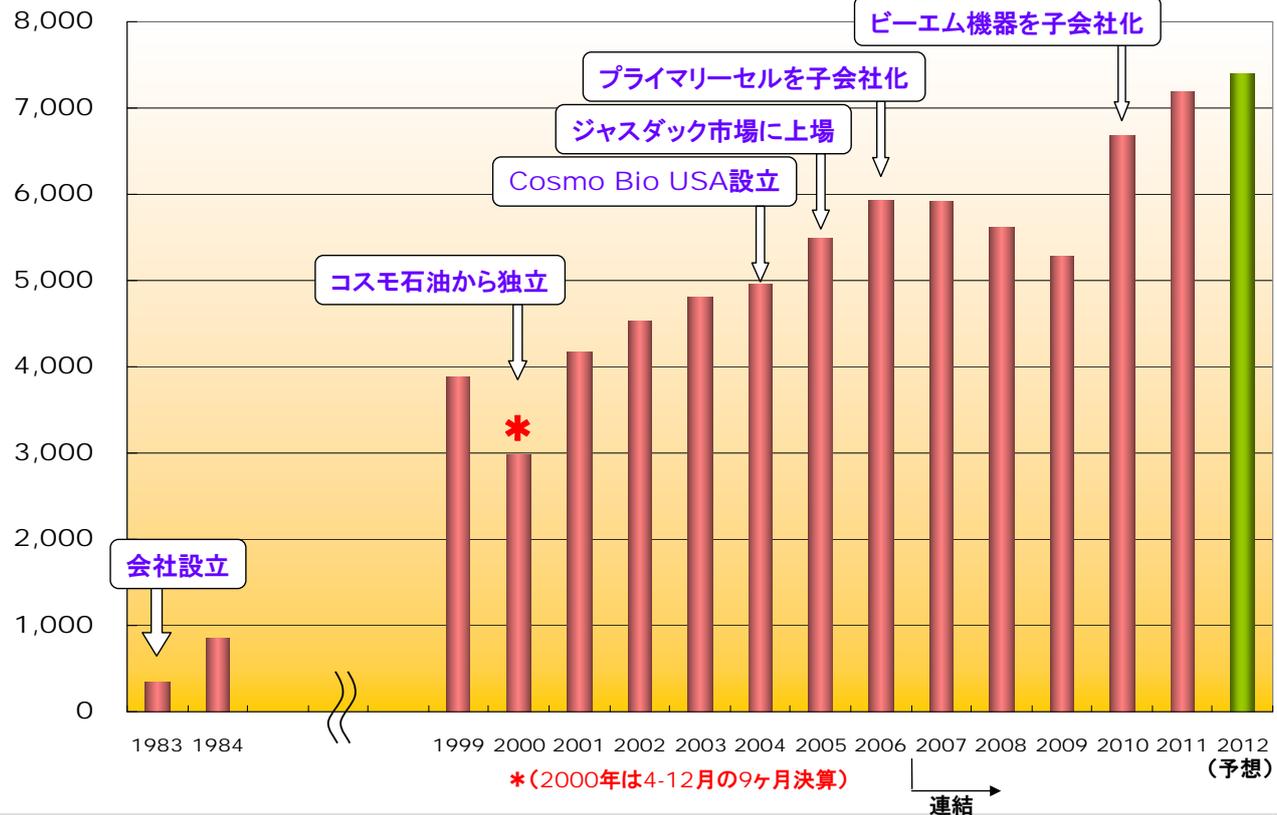


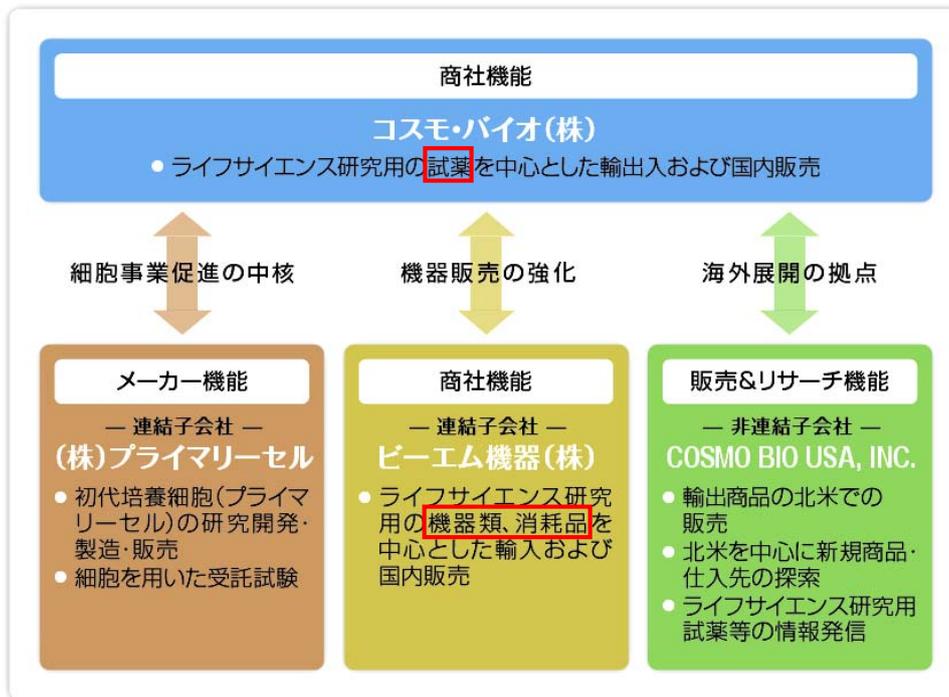
ライフサイエンス研究を支援する専門商社



当社の歩み

売上高(百万円)





- 研究活動に必要不可欠な『試薬』と『機器』の両面からライフサイエンス研究を支援
- 商社機能にメーカー機能を一部複合させ、安定的な事業拡大を推進

2. 事業内容と特徴

ライフサイエンス研究



とても広い範囲で 様々なライフサイエンス研究が行われています

- ライフサイエンス研究は...
医療分野だけでなく、私たちの生活を支える経済や社会の発展にも大きく役立っています。
- ライフサイエンス研究は...
豊かな生活のために、なくてはならない研究です。

コスモ・バイオグループは
研究に必要な
**薬品(=試薬)や
実験道具(=機器、
器材)**を
世界各国から種類豊富に
取り揃えて、ライフサイエンス研究を支援しています。

取扱商品の一例

試薬



培地、緩衝液など

機器



小型実験機器

試薬



キット(試薬セット)

試薬

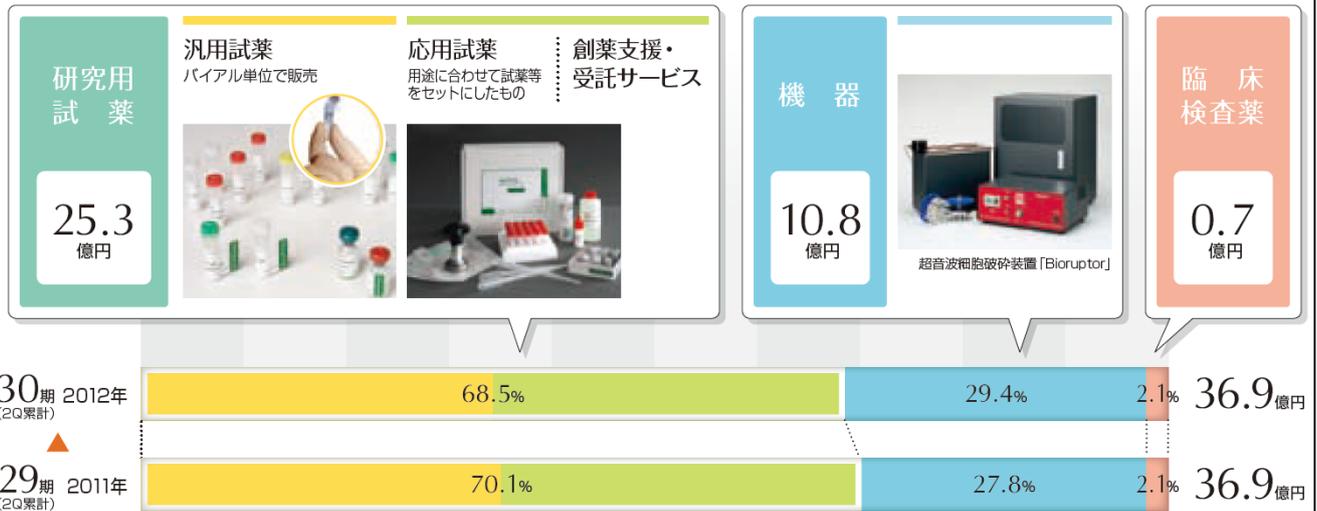


抗体・生理活性物質など

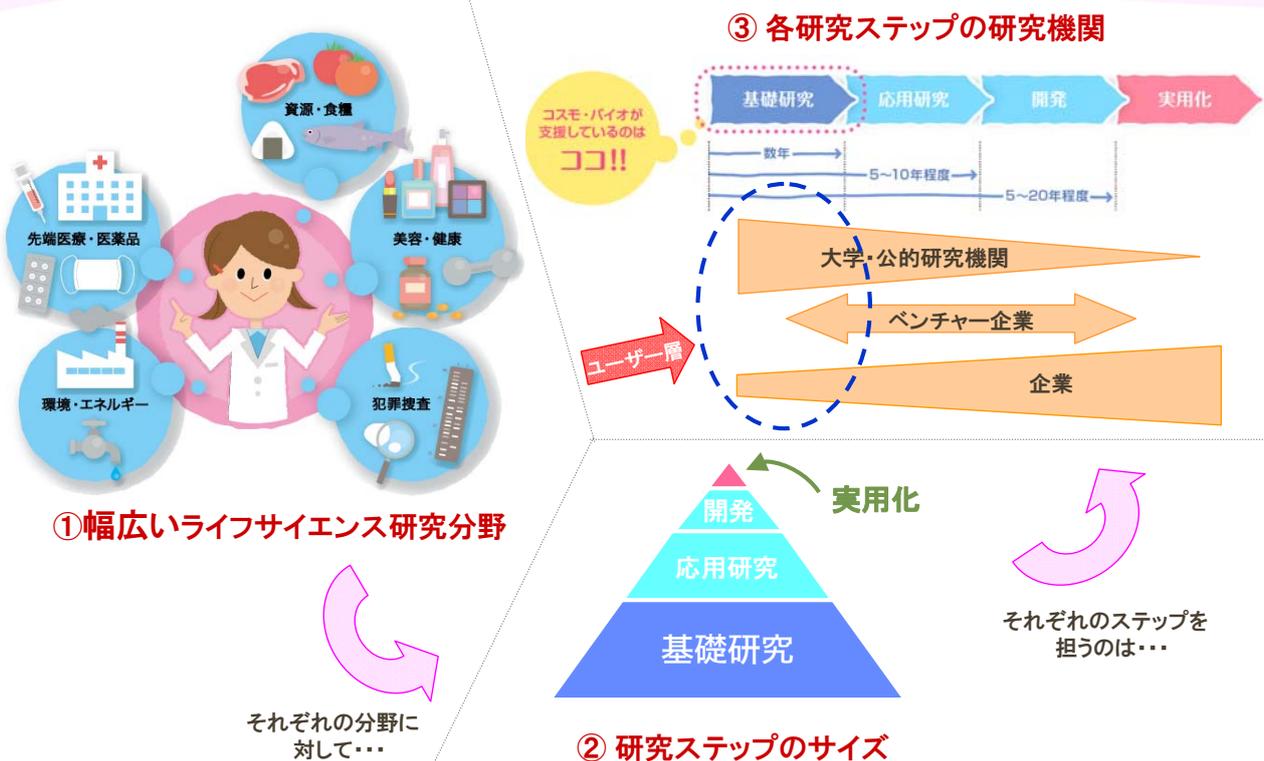
試薬・機器の一例をブースで展示・紹介しています

主な商品の分類と売上構成(連結)

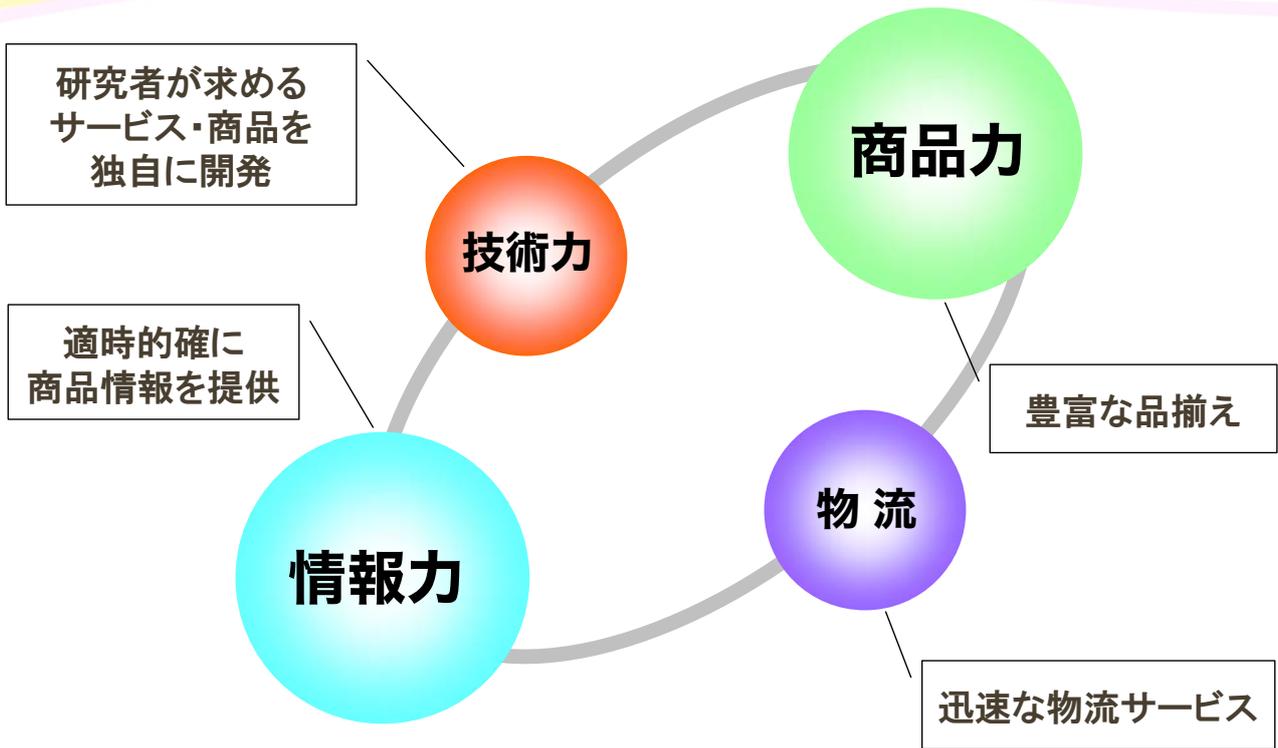
2012年12月期第2四半期の商品分類別売上構成



ライフサイエンス研究とユーザー層

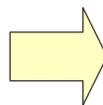


コスモ・バイオの4つの特徴

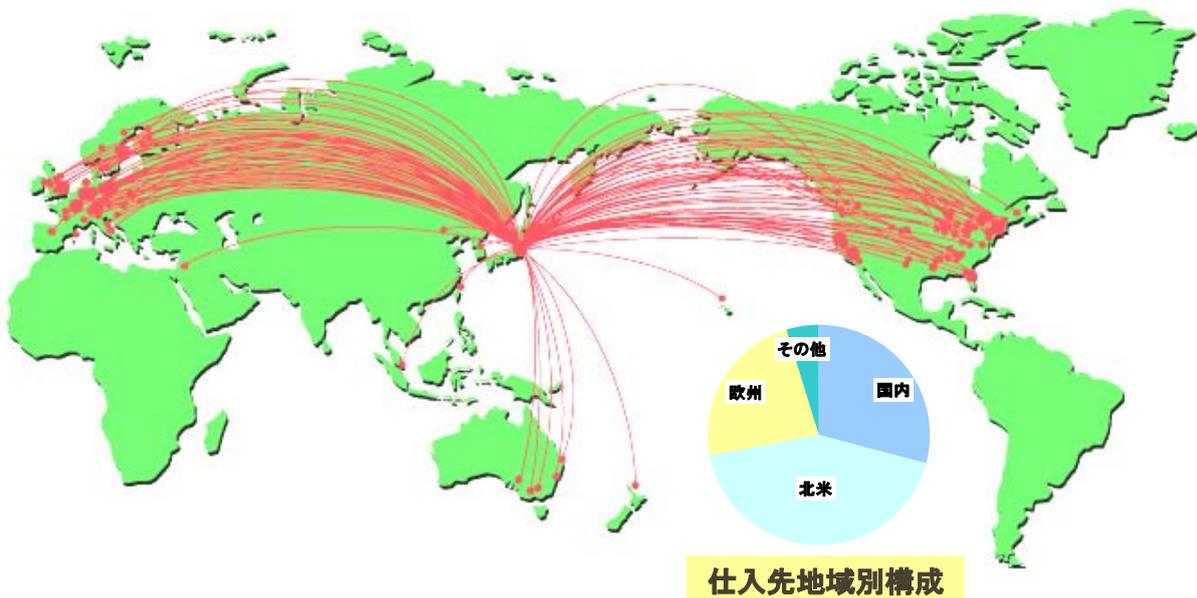


商品力 国際ネットワークを活用した商品仕入れ

世界中の約**600**社の仕入先

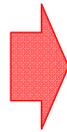


約**280万**の品揃え



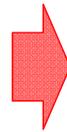
商品力 約280万品の豊富な品揃え

豊富な品揃え、
その理由は？



- 膨大な基礎研究&ひとりひとり異なる実験
- 核酸やタンパク質などの膨大な生体試料を材料とした多種多様な試薬
- 多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

商品がたくさん
あると...



- とりあえずコスモで探せば何でもある
(第一に選んでいただける)
- 「こんな試薬もあったんだ」
→じゃあ、こういう実験もできる！
(新たなインスピレーション)
- 万が一お求めの商品がご提供できない場合にも、類似の代替品があり、研究活動をサポート

とりあえずコスモに聞けば
何でもある

なければ
探してくれるし

なければ
作ってくれる



コスモ・バイオにお任せください！

情報力 商品情報提供ツール

各種商品情報提供ツール



ニュースレター



ホームページ/商品検索システム



各種カタログ



セミナー・展示会



研究者が求める専門的で高度なニーズに対応するために、
専門性の高い人材とノウハウを蓄積し、膨大な商品情報(シーズ)と
多様なニーズとのマッチングに努め、研究活動をバックアップ

【ニーズとシーズのマッチング】



物流 商品の保管・管理

【保管場所】 下記の他に、-70℃、液体窒素の保管場所もあります



-20℃



4℃



室温

【入荷・出荷場所】



適切な温度管理を必要とされる商品がほとんど。

適切な在庫設定や保管により、研究者に高品質な商品を迅速にお届けします。

物流 迅速な商品配送体制

1 日本全国をカバーする
200超の代理店ネットワークで
研究活動をサポート



2 在庫商品は、翌営業日の
朝10時までには代理店に
お届け

代理店から研究者へは、
手渡しでその日のうちに
納品

3 研究者から求められる商品をできるだけ早くお届けし
研究のスピードアップに寄与する、という考えのもと、
在庫設定の最適化に取り組み中

技術力 自社ブランド商品の開発、受託サービス実施

Q.なぜ、自社品開発？



- コーポレートブランドの浸透
- 研究者の声から、これまでになかった試薬の開発
- M&Aなどによる仕入先消失の売上減リスク回避

Q.どうやって開発？



- グループ会社と連携して共同開発
- 研究者のノウハウや知的財産を活かして商品化
- 期待のテーマに対する研究支援や積極投資



「iMyRun」電気泳動装置



「コスメディウム」
培養用培地シリーズ



糖代謝測定キット

社会貢献活動

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界の化学・生物実験～DNA鑑定』
和歌山工業高等専門学校

『細胞内構造の観察とがん研究への応用』
愛知県がんセンター研究所

【昨年度に開催された講座の一例】

米国科学振興協会(AAAS)が発行する研究者のためのオンラインジャーナル“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています

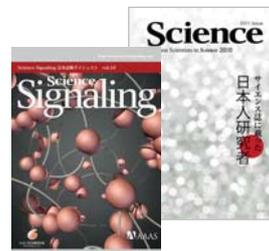
『iGEM生物ロボットコンテスト』

参加日本チームへの支援

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています



『Science Signaling』



3. 2012年の取り組みと進捗状況

活力ある成長企業を目指す

ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

<取り組み>

1. 事業規模の拡大
 - 売上アップ・シェアアップ
 - 有望分野への集中
 - 海外展開の推進
2. コーポレートブランドの高揚
 - ライフサイエンス研究支援で最も信頼される企業
 - 誇れる会社
 - 自社品の充実
3. ビジネスの多角化
 - 周辺の新規ビジネスの探索
 - 仕入先と連携したビジネス展開
4. 経営の効率化・合理化
 - グループ内の業務効率化
 - 仕入、販売、物流 —

2012年の取り組み -重点項目-

3ヵ年計画を見据え、今年度は下記5項目を
最重点課題として取り組んでおります

1. 商品探索力の強化と自社ブランド商品の充実
2. 商品検索システムの機能・運用強化
3. 細胞関連分野の売上アップ加速
4. 在庫品販売比率のアップ
5. 海外販売網の拡充加速

1. 商品探索力の強化と自社ブランド商品の充実

商品力 技術力

商品探索力の強化

- 的確なニーズ&シーズの情報収集
- COSMO BIO USAの有効活用
- 社内体制の整備

自社ブランド商品の充実

- これまでなかった試薬を商品化
- 研究者との共同開発でアイデアを形に
- 日本の優れた技術を世界へ



《商品開発例》

進捗

昨年度に開発した糖代謝測定キットをはじめ、生活習慣病や加齢研究用の商品の開発に取り組んでいます

1. 商品探索力の強化と自社ブランド商品の充実

商品力 技術力

《2012年上期の自社ブランド商品開発例》

Anti 5'-nucleotidase. Ecto	Anti Laminin α 4
Anti AATF/Che-1/Traube	Anti Leukocyte Mono-Immunoglobulin-like Receptor 7
Anti Aggrecan	Anti myelinproteinzero-like 1
Anti Apolipoprotein L1	Anti MyoD
Anti bone marrow stromal cell antigen 1	Anti Neurocan peptides
Anti Brg1	Anti N-syndecan
Anti Brg1	Anti Nup153
Anti C/EBP β	Anti Nup62/p62
Anti CAP-H2 (Condensin II subunit)	Anti Oct4/POU5F1
Anti CHD1	Anti osteoclast associated, immunoglobulin-like receptor
Anti CHD2	Anti Prohibitin1 (PHB1)
Anti CHD5	Anti Prohibitin2 (PHB2)
Anti CUB domain containing protein 1	Anti Ran
Anti Cytokeratin18 (CK18)	Anti RNA polymerase 2, CTD Ser2ph
Anti DHX9/RNA helicase A	Anti SDP-35
Anti D- β -Aspartic acid	Anti SUMO1
Anti Exportin-5	Anti SUMO2 and SUMO3
Anti fibroblast growthfactor receptor-like1	Anti tumor necrosis factor receptor superfamily, member 10c
Anti Fibromodulin	Anti Versican
Anti fibulin 1 (FBLN1), transcript variant B	Anti XTP1
Anti glypican 1	β -galactoside- α -2,3-sialyltransferase(JT-ISH-467)
Anti Histone H3 K9Ac	BONE RESORPTION ASSAY KIT 48x2
Anti Histone H3 S10ph	BONE RESORPTION ASSAY PLATE 48x2
Anti Histone H3 T11ph	CEL-BSA
Anti Histone H3 T32ph	CML-BSA
Anti Histone H3.1	Cosmedium 004 for Hepatocyte/F12based
Anti Histone H3.3	Drosophila Diptererin Inhibitor TPS-17
Anti HSV (UL3~UL54)	Drosophila Diptererin Inhibitor TPS-19
Anti HSV (US1~11)	Fluoresceinamine Labeled Sodium Chondroitin Sulfate (C2)
Anti HtrA serine peptidase 3	Fluoresceinamine Labeled Sodium Chondroitin Sulfate E (E2)
Anti Importin4	Fluoresceinamine Labeled Sodium Heparan Sulfate (P2)
Anti INI1/BAF47/SNF5	GA-BSA
Anti insulin-like growth factor binding protein-like 1	Mild-AGE-BSA
Anti Keratan Sulfate	Ribose-gelatin

2. 新商品検索システムの機能・運用強化

- 2011年末
Web上での商品検索システムを
リニューアル
- 2012年
商品情報の整備・充実
検索機能の徹底強化 について
引き続き順調に取組中
- ウェブサーバの更新(2012年6月)

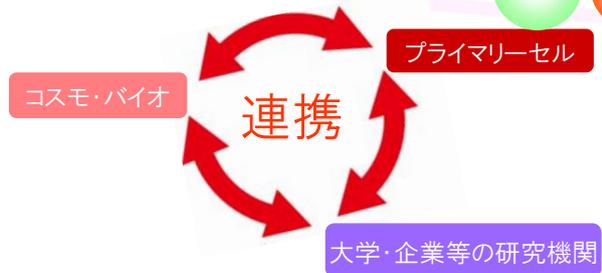
280万品の
品揃え
(仕入先600社)



3. 細胞関連分野の売上アップ加速

当社グループの取り組み

- グループ会社機能を生かした商品開発・技術サポート
- 仕入先の拡充による商品品揃えの充実
- 商品・技術開発を目指した共同研究開発
- ヒト細胞を用いた受託解析サービス
- 販売体制の整備(2012年4月)



《関連分野の取り扱い商品数の推移》



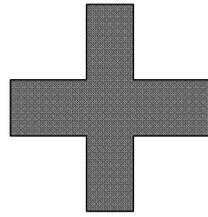
細胞培養ハンドブックVer.3
(2012年6月発刊)

4. 在庫品販売比率のアップ

迅速・正確な商品出荷と適切な在庫管理による在庫品からの出荷率の向上を目指し、下記の取り組みを行っています。

- バーコードシステムの導入
- 在庫設定の運用の改善

独自のノウハウ



5. 海外販売網の拡充加速

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化
(2012年9月末時点で19社)

→ 今後更に既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)

2013年末までに30代理店へ

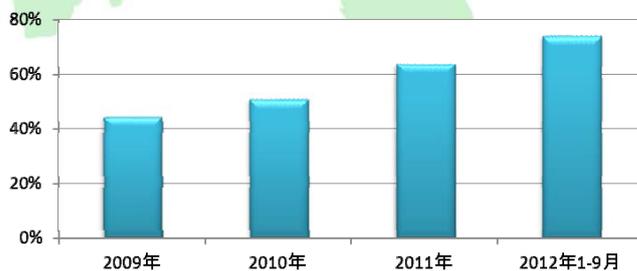
- 米州の市場開拓を強化

- Cosmo Bio USAを米国市場開拓の拠点とし、また世界に向けた情報発信拠点に

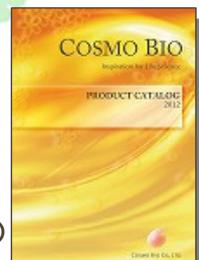


タンパク質合成キット
PURESYSTEM®

《代理店売上比率の推移》



カタログ
(2012年6月発刊)



4. 決算概要 (2012年12月期第2四半期累計)

www.cosmobio.co.jp

31

2012年12月期 第2四半期の連結業績ハイライト

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

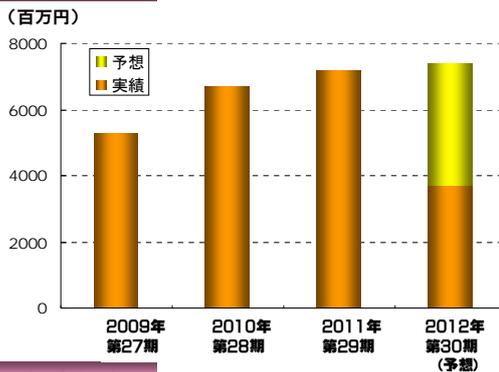
(単位:百万円)

	前第2四半期 実績(累計)	当第2四半期(累計)		前年 同期比 増減	当初 予想比 増減
		当初予想	実績		
売上高	3,696	3,830	3,693	△0.1%	△3.6%
営業利益	588	455	519	△11.7%	14.1%
経常利益	570	477	514	△9.8%	7.8%
四半期純利益	316	275	273	△13.5%	△0.4%

	2011年12月期末	2012年第2四半期末	増減額
総資産	6,734	6,779	45
純資産	5,343	5,576	233

業績推移

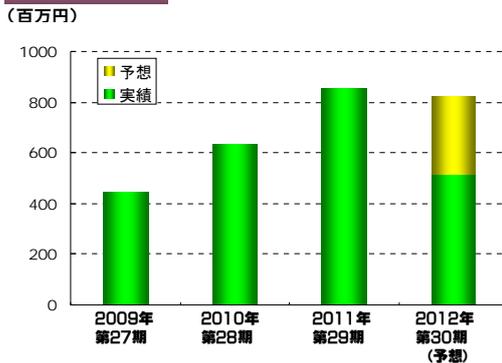
<売上高>



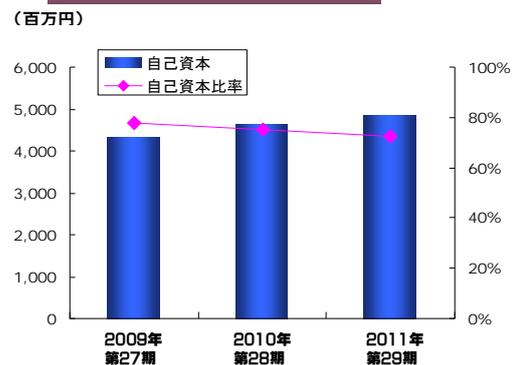
<営業利益>



<経常利益>



<自己資本/自己資本比率>



2012年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

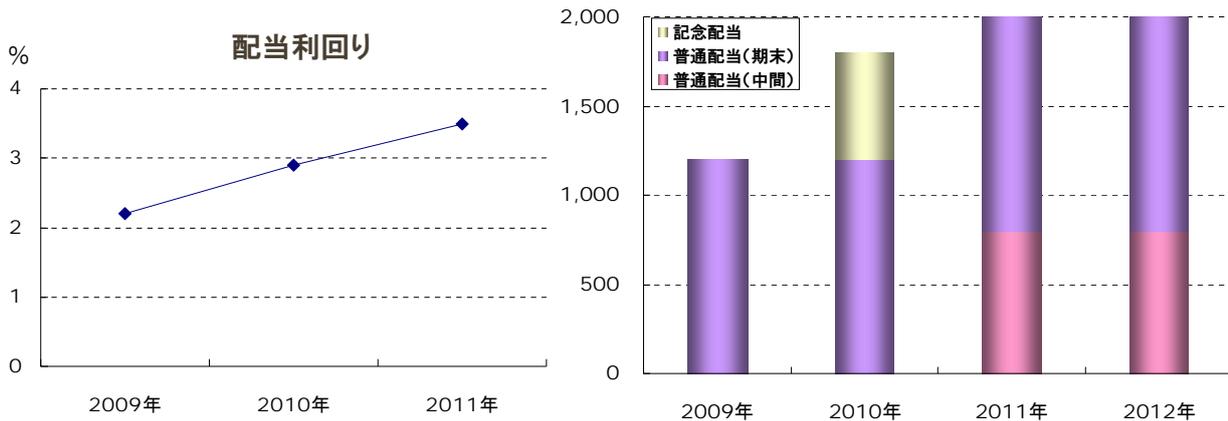
	10/12月期 実績	11/12月期 実績	12/12月期 予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	6,676	7,192	7,400	207	2.9%
営業利益	701	891	775	△115	△13.0%
経常利益	635	856	823	△32	△3.8%
純利益	373	458	480	21	4.8%
売上高経常利益率	9.5%	11.9%	11.1%	—	—

平均為替レート	10/12月期	11/12月期	12/12月期 上期実績	12/12月期 (予想)
円/USドル	88円	79円	79円	83円

配当について

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2012年 12月期	800円	1,200円(予想)	2,000円(予想)
2011年 12月期	800円	1,200円	2,000円
2010年 12月期	0円	1,800円 (うち普通配当 1,200円) (うち記念配当 600円)	1,800円
2009年 12月期	0円	1,200円	1,200円

配当利回り



Copyright© 2012 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

35

ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

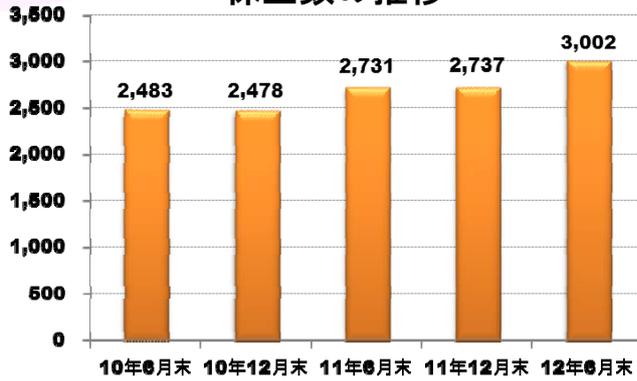
当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

Copyright© 2012 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

36

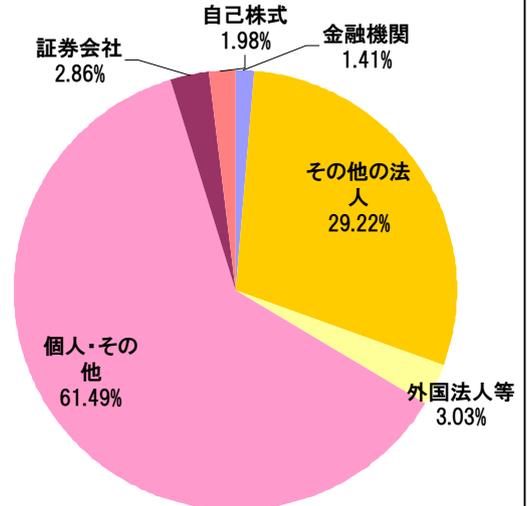
株式の状況(2012年6月末現在)

株主数の推移



発行可能株式総数 183,616株
発行済株式の総数 60,480株
自己株式数 1,200株

所有者別株式分布状況

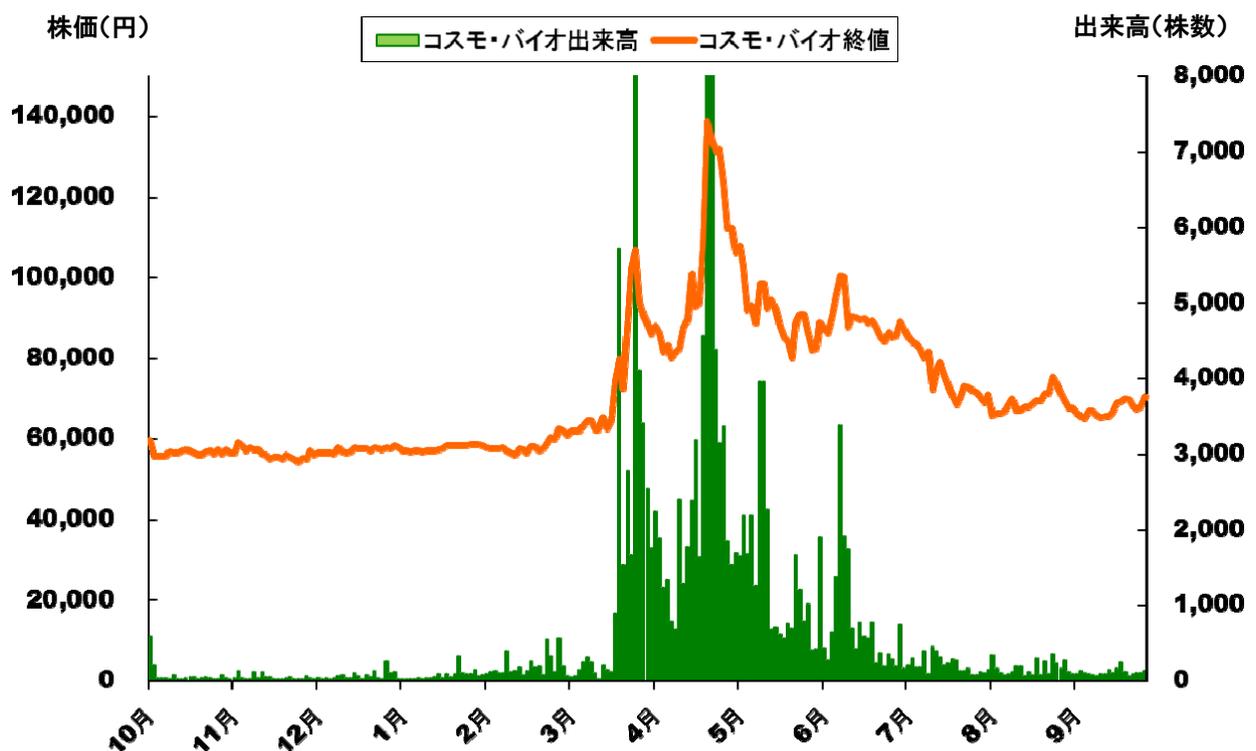


大株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.05%
コスモプロパティサービス株式会社	5,760	9.52%
コスモ・バイオ従業員持株会	3,522	5.82%
福井 朗	1,772	2.93%
原田 正憲	1,760	2.91%

注)コスモプロパティサービス株式会社はコスモ石油株式会社の連結子会社です

株価推移(2011/10/1~2012/9/28)



ライフサイエンス研究の市場環境

大学・公的研究機関

- 政府(文部科学省、厚生労働省、農林水産省など)のバイオ研究開発予算は、財政再建のため公的予算の見直しが続くなか、基礎研究を支える科研費は重点配分。

企業

- 一定の需要はあるものの、研究開発費の抑制傾向があり市場は微増から横ばい傾向が継続。

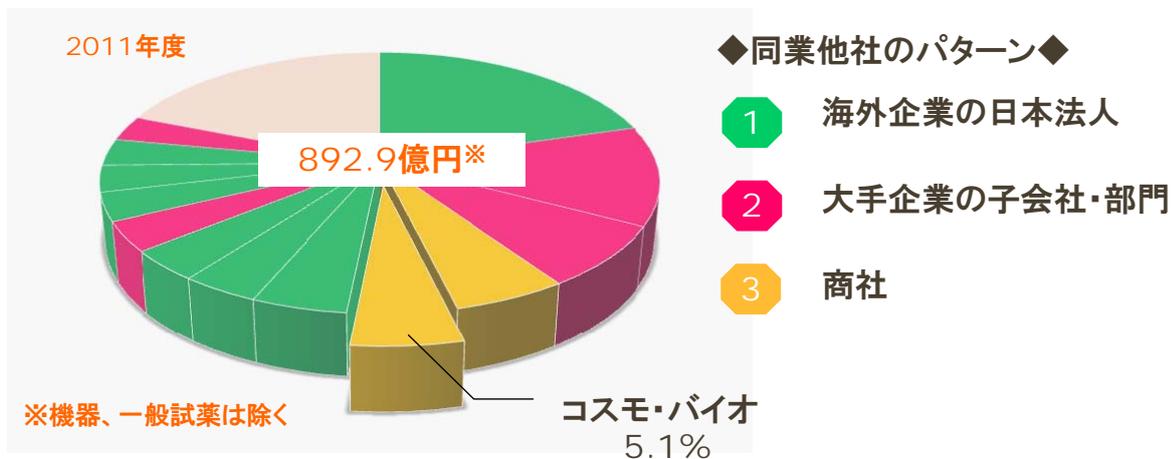


2011年度の科研費は、単年度で大幅増額し、また2011年度より、研究費の複数年度基金化が開始。

2012年度は、2011年度を上回る予算となり、研究活動に追い風。

ライフサイエンス研究用試薬の市場と同業会社

生化学(ライフサイエンス)研究用試薬の市場規模



出典: 矢野経済研究所『生化学向け研究用試薬に関する市場動向調査 2012年度版』

コスモ・バイオは、国際的なネットワークと豊富な品揃え・情報提供力を生かし、信頼される質の高いサービスを提供することで、売上・シェアを伸ばしていきます